
遊戯王EX ~ 現実と非現実 ~

らーゆ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王EX〜現実と非現実〜

【Nコード】

N2998Z

【作者名】

らーゆ。

【あらすじ】

ある日公園でマラソンしていた斎藤正義は突然何かにつまづいて転ぶ。

つまづいたものを見てみると、なんと遊戯王ZEXALの主人公、九十九遊馬がいた。

現実とアニメが超融合しています。

いくら現実がガチデッキばかりでも、主人公達はやはりチートでした。

基本的にデュエルは現実世界のルール、制限に基づいてやっていきます。LPは8000です。大会ではマッチルール。

作者にデュエルタクティクスはほとんどないですが、よろしく願います。

プロローグ（前書き）

作者の頭がカットビングしています。

駄文ですが生温かい目で見守ってやってください。

プロローグ

某日、某公園

「くうー！今日も元気にマラソンだぜ！俺！！」
朝早くにも関わらず大声で独り言をいいながら準備体操をしている男が一人。

彼の名前は斎藤正義。黄色に染めた髪にだらしなく飛び跳ねた寝ぐせ。

顔はそこそこイケメンのだが、非常に残念な男である。いろんな意味で。

「さて！！準備体操終わり！レッツゴー！ははははは」
そう言うと爽やかに笑い、スキップをするように走り始める。

そう。なんら変わりない一日中だったのだ。
・・・何かにつまづいて転ぶまでは。

「~~~~・・・お、とどうああく！！??」
ルンルンにテンポ良くリズムに乗りながらマラソンしていた正義だったが、何かにつまづき、盛大に転げ回る。

「・・・いつてて・・・なんだよ！こんなところに物置くなよ・・・」

「~~~~」
そうぶつぶつ呟きながら立ち上がり、つまづいた物を見た瞬間に固

まる。

見覚えのある服。

見覚えのある物。そして・・・

「ギャー！！！！えびいひいひい！！？」

見覚えのある特徴的な髪型。

「ど・・・どういう・・・ことだ・・・ま・・・まるで意味がわからんぞお！？！」

正義がぶつかつたもの・・・それは間違いなく遊戯王ZEXALの主人公。九十九遊馬だった。

偽物？いいえ。本物でした。(前書き)

まだデュエルはしません。

ちなみに流したの音楽はご存知、ゴールデンタイムでも流れたえーりんである。

「・・・あるえ〜？ここはどこだあ〜？俺・・・確か自分の部屋で寝てたはずなんだけどな〜・・・」

「それはこちらのセリフだ！！なんであんなところに倒れていたんだ！！おかげで転んじまったよ！！そして名前をなれのコスプレイヤー！！！！」

「コスプレイヤー！！？違っぜ！俺の名前は九十九遊馬！！将来デュエルチャンピオンになる男だぜ！！お前の名前はなんだ？」

＼（＾o＾）／

自分から恥ずかしげもなくデュエルチャンピオンになる！！というずうずうしさ。

それにこんな状況でも元気に九十九遊馬となるのは、やはり・・・本物のようだった。

本物・・・本物！！！！

「・・・夢じゃなかったんだ・・・！俺は斎藤正義！！とりあえずサインお願いします！！！！九十九遊馬さん！！！！」

「さ・・・サイン〜！？俺ってそんなに有名なのか〜！？いやー照れるぜー！！」

（信じられないが、俺はアニメのキャラと今話しています！！デュエル仲間に自慢しよう！！そうしよう！！）

「あと写メ取らせてください！お願いします！！」

「いいぜ〜！！お前、俺のファンなんだろ？」

写メをとろうと携帯を開くと、新規メールが入っていた。
まさかと思い受信BOXを開く。

f r o m 津田祐一

件名：ちょwww

本文：遊戯さんがいるんだけどwww
どう見ても本物www

f r o m 松井雪

件名：信じられないと思いますが

本文：コンビニに行く途中、十代さんに会いました。非現実的だと思いますがコスプレイヤーではなく、本物のようです。いったいどうしたらいいでしょうか？

f r o m 雑賀弦一

件名：本日予定の空いている者へ

本文：緊急事態だ。本日の10時に緊急会議を行う。場所は俺の家。何度も来ているので場所はわかると思うが一応地図を添付しておく。もし万一に俺と同じくアニメのキャラにあつた者がいたら、連れて来て欲しい。

ただし、その者は公共機関を利用せず、アニメのキャラの顔や服装は隠して来ること。

それと車で来れるものがいたら持っているカードを全て持って来て欲しい。

よろしく頼む。

正義はメールを一通り見終えると、一瞬意識を飛ばした。それほど書かれていることが衝撃で、頭の中でデータがオーバーヒートしたためである。しばらく意識を飛ばしていたようだが、意識が元に戻ると同時に絶叫した。

偽物？いいえ。本物でした。（後書き）

現在デュエルの中身を考えています。

最初は初心者向けに説明をいれながらデュエルを進める形になると
思いますが、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2998z/>

遊戯王EX～現実と非現実～

2011年12月10日18時03分発行